

News Release

2025年 5月 28日
東日本電信電話株式会社 福島支店

通信インフラ技術を農業へ応用 ドローンによる農薬散布のデモフライトを展開 ～通信設備メンテナンスと農業支援の二刀流プロジェクト～

東日本電信電話株式会社 福島支店(支店長:大橋 真孝、以下 NTT 東日本福島支店)は、国産ドローンによる農薬散布デモフライトを田村郡小野町地内の水田で行い、農作業の効率化に向けた効果検証を実施いたします。

1. 背景

NTT 東日本福島支店では、通信インフラの維持・管理に使用しているドローン技術を活用したインフラ分野におけるスマートメンテナンスの実現に向けた実証実験等を実施してまいりました。今般、こうした技術を農業分野にも展開することとし、米等を作付する水田農家のご協力のもと、ドローン飛行による農薬散布のデモフライトを行い、農作業における効率化について効果検証を行うものです。

2. 目的

- (1) 農業分野におけるドローン活用の有用性、農作業における効率化についての効果検証
- (2) 弊社ドローンパイロットのスキル維持及び人材育成

3. 実施概要

(1) 実施日時

2025年6月2日(月) 10時00分～11時00分
※天候などにより変動する場合があります

(2) 実施場所

福島県田村郡小野町大字浮金字貝屋 113-2

(3) 散布面積

合計約 6 反

(4) 使用ドローン機

株式会社 NTT e-Drone Technology(代表取締役:滝澤 正宏、以下NTTイードローン)社製「AC101」(<https://e-drone.tech/>)

【特徴】

- ・日本の農業現場に適したコンパクトで軽量の機体
- ・シンプルな自動化で操縦負担を軽減
- ・長時間の飛行が可能なバッテリーを搭載



NTT イードローン AC101 機

4. 今後について

自治体や地域のスマート農業に興味をおもちの団体・事業者・農家様に対し、ドローンをはじめとしたデジタル技術の活用による地域社会課題の解決に積極的に取り組んでまいります。

NTT 東日本グループは「地域の未来を支えるソーシャルイノベーション企業」として、今後も通信事業で培ったアセット・ノウハウを活用した地域のレジリエンス強化に取り組むとともに、デジタルを活用した農業分野のスマート化の実現とサステナブルな社会創りに貢献してまいります。

【本報道発表に関するお問い合わせ先】

NTT 東日本 福島支店 広報担当

佐藤・本間・二階堂 fuku_kisou2-gm@east.ntt.co.jp